

内需の拡大に期待



一般社団法人日本塗料工業会
会長 毛利訓士

暑中お見舞い申し上げます。平素より関係者の皆様には、日本塗料工業会の活動に対し格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

国内の製造業は、円安の効果で輸出が好調な企業もあるようですが、原材料の高騰、個人消費の伸び悩みなどの影響から全体としては不透明感が強い状況が続いています。

塗料業界も例外ではなく、設備投資の増加、賃上げの効果等による内需の拡大に期待を寄せているところです。

このような状況にあって、当会としては積極的な活動を行うことで、新たな可能性を創出していくことを考えています。

万博で盛り上がっている大阪で5月に開催されました2025年度コーティングジャパンでは、日塗工ブースに昨年以上のご来場者をお迎えいたしました。11月には幕張メッセ、来年2月にはポートメッセなごやでの出展を予定いたしております。

ジャパンビルドでは、8月にインテックス大阪、12月に東京ビックサイトに出展し、幅広い分野の皆様とのコミュニケーションを通じ、塗料のPRと、新たなものづくりについて意見交換を行いたいと考えています。

塗料をより多くの機会に活用頂き、その効果を高めて頂くために、色彩知識と企画提案力を養って頂くCCSセミナーを実施しています。座学だけでなく、実習を含めた実践に活かせる内容となっています。基礎編は7月に終了致しましたが、実践編を10月に予定しています。塗料、色彩関係の皆様のご参加をお待ちいたしております。

塗料、塗装関連の最新の情報、新たな取り組み等皆様のご要望にお応えする塗料塗装・最新動向セミナー、色彩セミナー、建築塗料・塗装セミナー等を開催しています。現状を知り、新たな戦略検討の参考となるような内容を検討致しておりますので、ご期待頂けると幸いです。

好評を頂いております冊子「日本の塗料工業」は、展示会場等でお客様から話題にして頂けるようになってまいりました。毎回新しい話題をご提供いたしておりますので、是非お手に取って頂き、ご感想をお知らせ頂けると幸いです。

昨年度開発いたしました当会オリジナル塗料業界向け労働災害体験VRコンテンツにつきましては、既に多くの皆様にご活用頂いておりますが、更に多くの皆様にご活用頂くことで、塗料製造現場における労災防止意識を高め、塗料業界における労災撲滅を目指して頂けることを期待いたしております。

今年の夏も全国的に猛暑が見込まれています。一方、6月1日に施行されました改正労働安全衛生規則では、職場での熱中症対策が義務化されております。皆様方におかれましては、健康に十分ご留意のうえ、ご活躍されますことを祈念いたします。